

肝芽腫由来細胞株(HepG2)培養用培地

KBM Hepato-1

用途

本製品は、肝芽腫由来細胞株であるHepG2細胞の増殖に適した培地です。生物由来原料基準に基づいた原料のみを使用した低血清CD(Chemically Defined)液体培地です。薬物代謝試験や毒性評価を始めとした医薬品研究開発などにご使用いただけます。

特長

- 含有するタンパク質成分は組み換え型ヒトインスリンのみです。
- 生物由来原料基準に基づいた原料のみを使用したCD培地です。
- 少量の血清(1%)の添加で血清添加基礎培地以上の増殖性を得られます。使用時に1-10%の血清を添加してお使いください。
- 本製品で培養したHepG2は高いアルブミン産生能を持つことを確認しています。



培養例

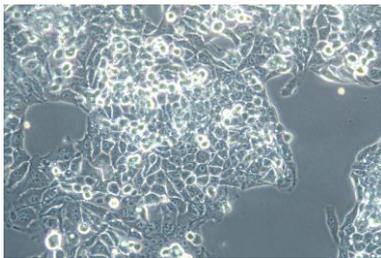


Fig. 1: 培養6日目のHepG2細胞形態 (KBM Hepato-1 FBS10%)

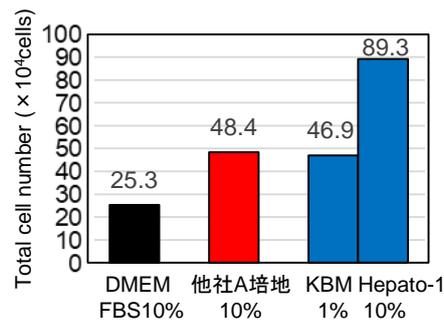


Fig. 2: 培養6日後の細胞数

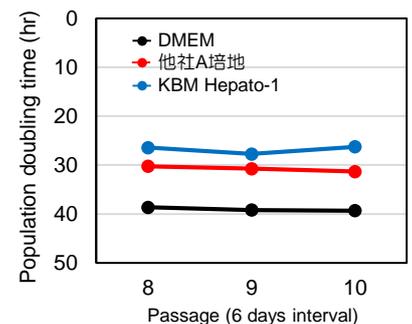


Fig. 3: 継代培養時のPDTの変化

[培養条件]

細胞: ヒト肝芽腫由来細胞株(HepG2)
培地: DMEM(H)+10%FBS
他社A培地+10%FBS
KBM Hepato-1+10% FBS
KBM Hepato-1+ 1% FBS (各1ml/well)

容器: 細胞培養用12穴プレート (Corning3513)
培養: 2×10⁴cells/wellで播種し、37℃・5%炭酸ガス環境下で静置培養、6日間隔で継代

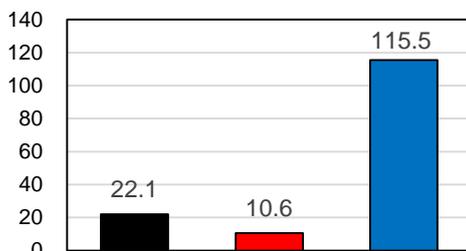


Fig. 4: 培養上清中のヒトアルブミン(Alb)量 (ng/10⁴cells/3days)

[培養条件]

細胞: ヒト肝芽腫由来細胞株(HepG2)
培地: DMEM(H)+10%FBS
他社A培地+10%FBS
KBM Hepato-1+10% FBS (各1ml/well)
容器: 細胞培養用12穴プレート (Corning3513)
培養: 10×10⁴cells/wellで播種し、37℃・5%炭酸ガス環境下で静置培養、3日間培養後、培養上清中のヒトアルブミン含有量をELISAで測定

製品コード	製品名	容量	定価	有効期限	保存温度
16050500	KBM Hepato-1	500mL	お問合せ	製造後8カ月	4℃

* 本製品は研究用試薬であり、ヒトまたは動物の治療用ではありません。